

令和元年度 全国健康保険協会岩手支部第3回評議会 議事概要

【開催日時】 令和元年12月2日（月）14:00～15:30

【開催場所】 朝日生命盛岡中央通ビル2階 B会議室

【出席者】 浅沼隆 大槻忍 小澤昭彦 小野寺聡子 川井博之 熊谷敏裕
日暮律子 藤村文昭（五十音順、敬省略）

【議事】

- ・議題1 令和2年度岩手支部事業計画（素案）について
- ・議題2 インセンティブ制度（確定値）について
- ・議題3 その他報告事項について
 - ①令和2年度保険料率について（各支部評議会における主な意見）
 - ②日本年金機構年金事務所内サテライト窓口の閉鎖について
 - ③第5回協会けんぽ健康川柳コンクールの実施について
 - ④令和元年度健康保険委員アンケート実施結果について

【議事の経過】

支部長挨拶後、各議題について協会より説明を行い、その後に出席者からの質疑等の発言を求めました。発言の内容は以下のとおりとなります。

（1）令和2年度岩手支部事業計画（素案）について

【事業主代表】

業務改革検討プロジェクトで判明した課題への対策の推進とあるが、具体的にどの分野を推進していくのか。

<事務局>

事務処理がきちんと流れているかどうか検証したなかで、支部によって事務の進め方が若干違う部分があり、効率的に処理を進めていくにあたって、書類の流し方や保管する書類の場所等、動線までを含めた形での全体像を検討しているところ。一つの仕事をすることも人によってスピード感が違う、またその人でなければできない仕事がないように職員の多能化も含めた業務改革を推進していく。

【被保険者代表】

マイナンバーカードと健康保険証との紐付けはどのようになるか。

<事務局>

将来的にはマイナンバーカードを医療機関に提示すれば、保険証として使用可能とな

る予定である。

【事業主代表】

ビッグデータの今後の活用イメージをお聞きしたい。

<事務局>

地域による医療行為の違い等を中心に分析を進めていきたい。

【被保険者代表】

地方自治体と連携したイベント等への参加は、支部で行っている分析結果を活用し、ターゲットを絞ったうえで検討を進めてはどうか。

<事務局>

県内においても地域差が存在しており、協会が保有するデータを活用し、今後の各事業に活用していきたい。

【被保険者代表】

厚生労働省が発表した診療実績が乏しい医療機関の診療科や病院の統合について、協会けんぽとしてどのような見解を持っているか。また外部への意見発信として、協会が意見を述べる場があるのかお聞きしたい。

<事務局>

県の医療審議会等の委員となっており、地域医療構想について発言をする機会がある。公立病院だけでなく、介護部門や私立病院も含めた形で検討を進めてみてはどうかと発言したところ。

【学識経験者】

地域医療構想においては、医師の確保対策も重要な課題となっており、医師を養成していくために教育レベルでの幅広い議論も行われている。県としても共通の認識を持っているが、経済的な問題や資質的なこともあり、難しい部分があると感じている。

【学識経験者】

調査研究の推進について、統計解析は専任の研究員が行っているのか。データを見誤らずに見て、考察、提言していくためには研究職が行うべきと考える。また昨今、大企業だけでなく中小企業がサイバー攻撃を受けている状況もあり、ペーパーレス化が進むことによる機密情報の外部漏えいが危惧される場所であるが、セキュリティ対策はど

のようになっているか。

<事務局>

協会の中で専任の部署を設け、また外部の有識者の意見も伺いながら、調査分析を進めている。また、セキュリティ対策については内部規定に基づき、不正な通信等があった場合をはじめ、各対策を職員に周知しており、自己点検も定期的に行っている。

(2) インセンティブ制度（確定値）について

【学識経験者】

理解度調査の対象者が7,227人となっているが、アンケート等の回収率は何%になっているか。

<事務局>

インターネット上での調査となっており、スクリーニングにより対象者数を把握しているが、全体の対象者数までは把握していない。

【事業主代表】

特定保健指導対象者の減少率について順位が低くなっているが、主たる要因はつかめているか。また、健診や特定保健指導の実施率向上のための取り組みを教えてほしい。

<事務局>

岩手支部においては、動機づけ支援の対象者の減少率が全国に比べ低い状況にあった。現状としては、健康経営宣言に登録している事業所で特定保健指導の実施率が低い事業所を中心に支部長をはじめ、職員による事業所訪問を行い、各指標についての協力を依頼しているところである。

【被保険者代表】

確定値のデータを用いた実績では、岩手支部の場合、保険料率が下がる方向に作用するようだが、加算率が0.004となっており、実際に下がる保険料率は加算率から減算率を除いた率ということによいか。

<事務局>

ご質問のとおり。最終的な保険料率は今後お示しする予定である。

【被保険者代表】

制度が始まったばかりであり、見直しの議論も進んでいないものと思うが、全体的に

見て大都市が下位に集中している。各指標の評価方法について見直しの意見は出ているか。

<事務局>

伸び率等も勘案し評価を行っているが、都市部における加入者数等の条件がどのように作用するかまでの分析は行っていない。他支部からの意見については、現状集約していないが、お示しできるものがあれば、次回評議会でお示ししたい。

(3) その他報告事項について

【事業主代表】

サテライト窓口の閉鎖について、利用者数の減少や郵送化率等を勘案すると妥当と思う。加入者が不便を感じる点はあると思うが、丁寧に周知、広報を行っていただきたい。

【学識経験者】

アンケートの質問項目については、知識検査にすると回答の精度は上がると思う。また、自由記述に関する項目は、個別にみるのではなく内容ごとにカテゴリー化し、ニーズをパターン化していく作業が必要と思う。